KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

2025年度

在学生調査実施報告

慶應義塾大学
教学マネジメント推進センター

※本資料について、慶應義塾の許可なく転載・転用・複製・改変・編集等を行うことを禁じます。

在学生調査について

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

教学マネジメント推進センターでは、2022年度より、学部に在学する学生を対象とした調査を実施しており、2024年度より、質問項目の一部見直しを行いました。入学から卒業までの学生調査を実施することによって、学修行動（学習時間、意欲、満足度など）や学修成果の達成度を把握し、大学および各学部における教育プログラムの見直し・改善に活用することを企図しています。

在学生調査の主な目的

・在学時における各学年での学修成果の到達度および満足度を測定し、
　学生生活における不安や悩み、大学に対する意見を収集します。
・卒業時調査と組み合わせた分析、比較を行うことによって、学生の学びの成果を可視化します。

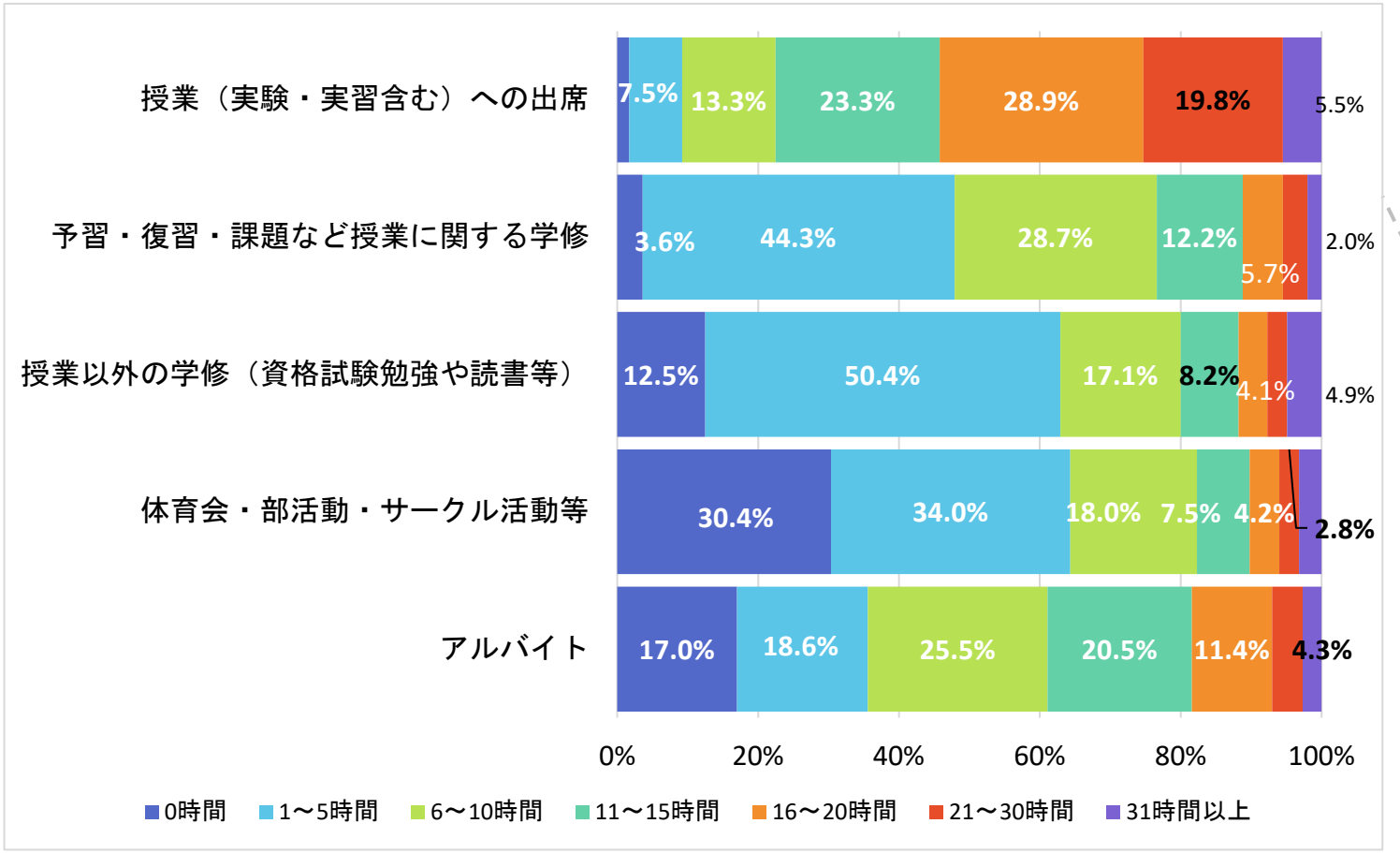
調査概要

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

対象者	2025年度に在籍している学部生(卒業した学部生を除く)
実施期間	(9月入学)2025年9月5日～2025年9月26日 (4月入学)2025年12月15日～2026年3月27日
実施方法	在学生向けポータルサイト(K-Support)によるアンケート機能を利用
回答数	2013件/22378件 (回答率:約9.0%)
調査主体	教学マネジメント推進センター／教学マネジメント推進室

1　学修時間

Q　授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間についてあてはまるものを選択してください

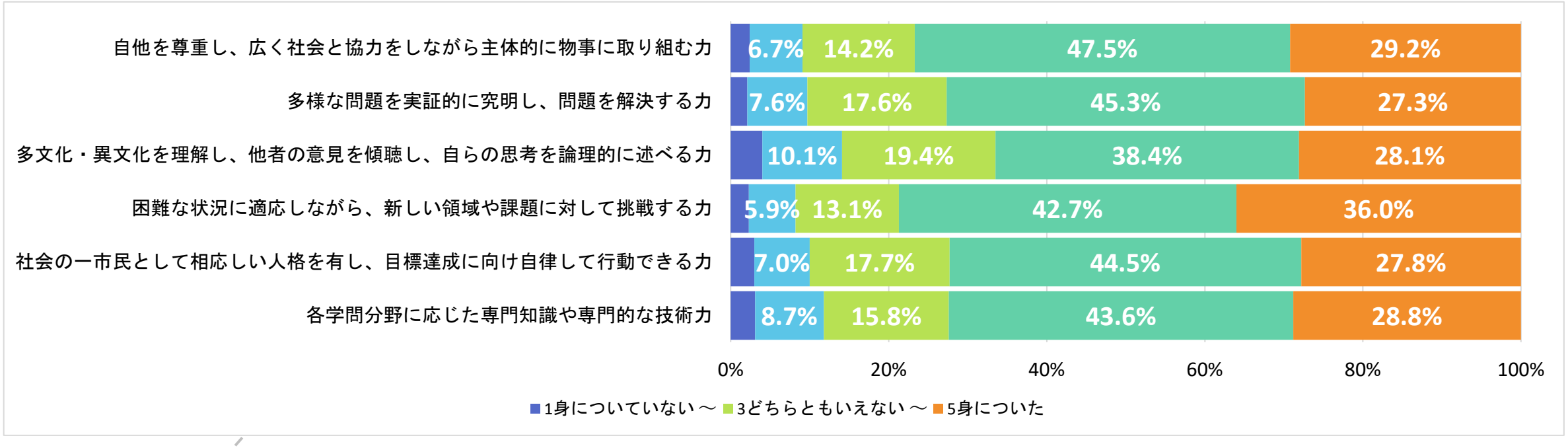


・在学生の約8割が、週11時間以上授業に出席し、約半数が、週6時間以上を予習・復習にあてている。

・また、授業外でも約9割近くの在学生が自主的な学修時間を確保している

2　学修成果

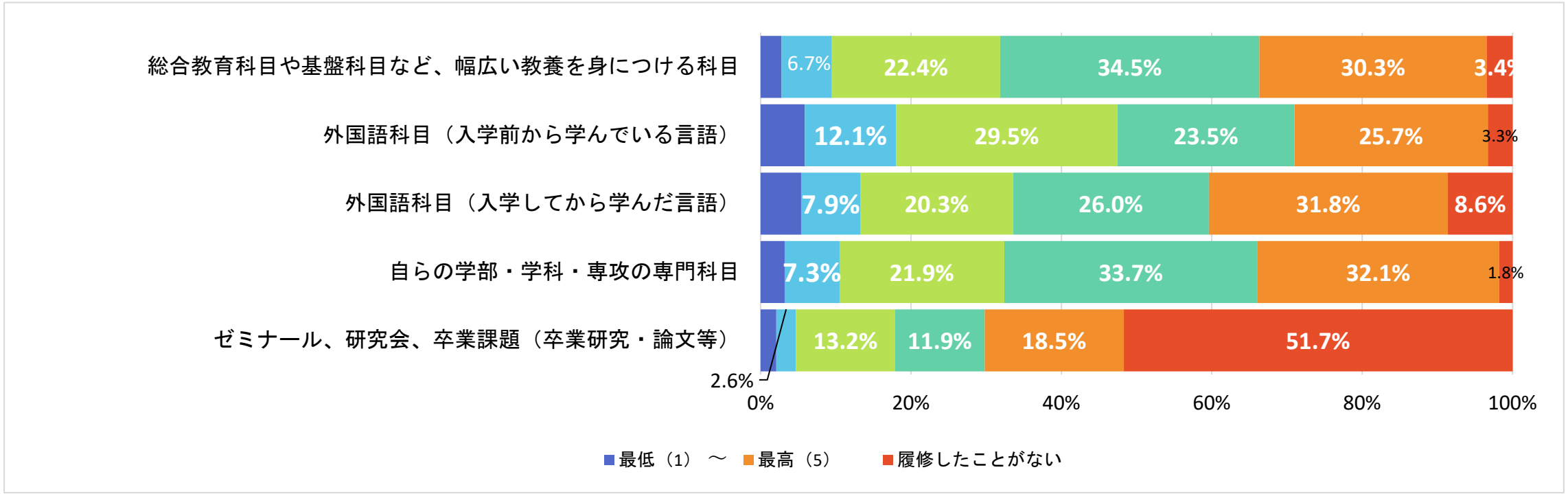
Q　大学生活において、以下の能力やスキルについて、大学入学時から比べてどの程度向上した、あるいは身についたと考えますか



大学が定める資質･能力目標について、7～8割弱の在学生が、大学入学時と比べて「身についた」側の肯定的な回答をした。
なかでも、「困難な状況に適応しながら、新しい領域や課題に挑戦する力」が最も高かった。

3　満足度（授業）

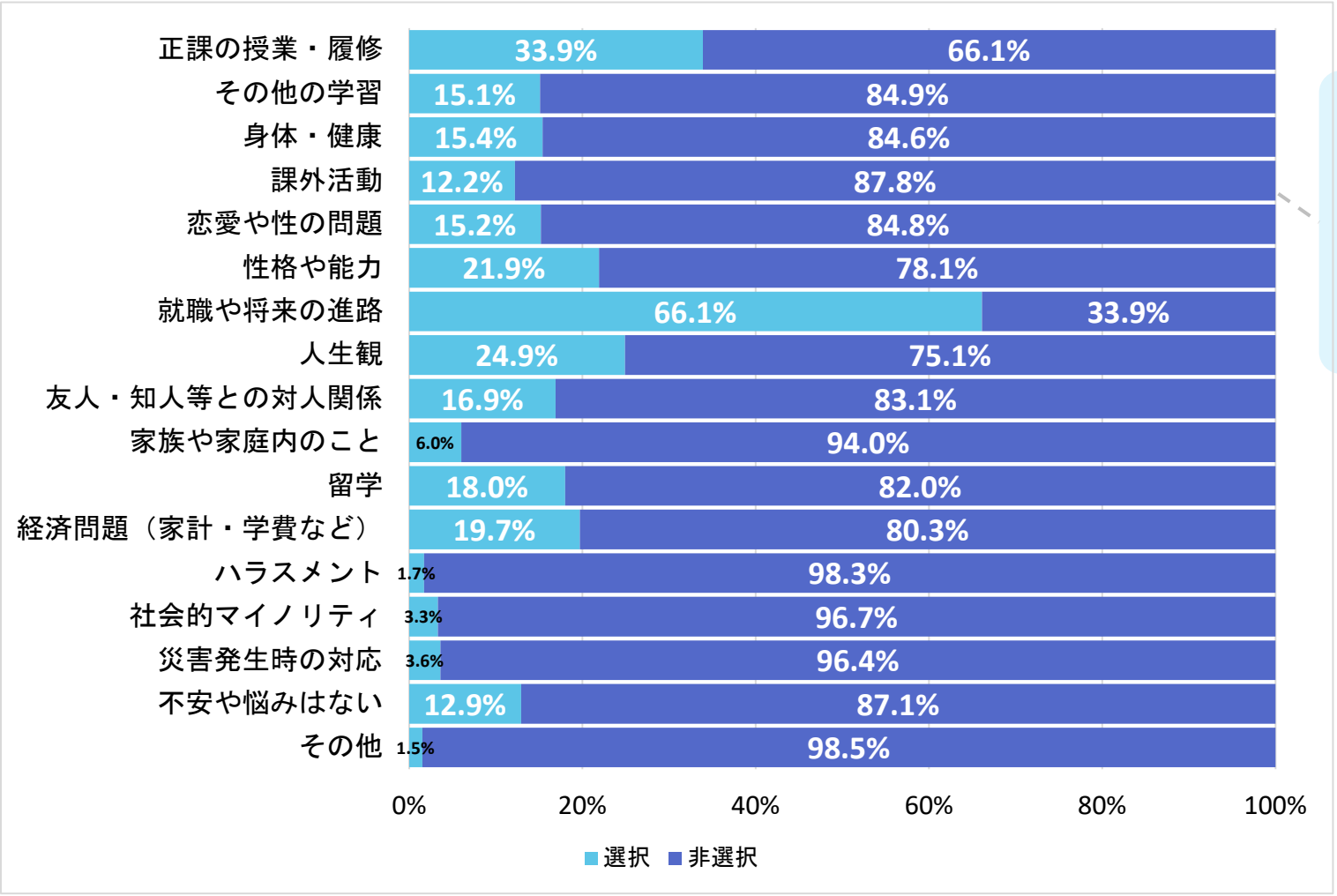
Q　これまでの授業の満足度について、それぞれ5点満点で点数づけをしてください



・在学生の6割以上が、「幅広い教養を身につける科目」および「所属する学部・学科・専攻の専門科目」に満足している。
　また、ゼミナール・研究会等の履修者についても、6割以上が満足している。

4 大学生活における不安や悩み

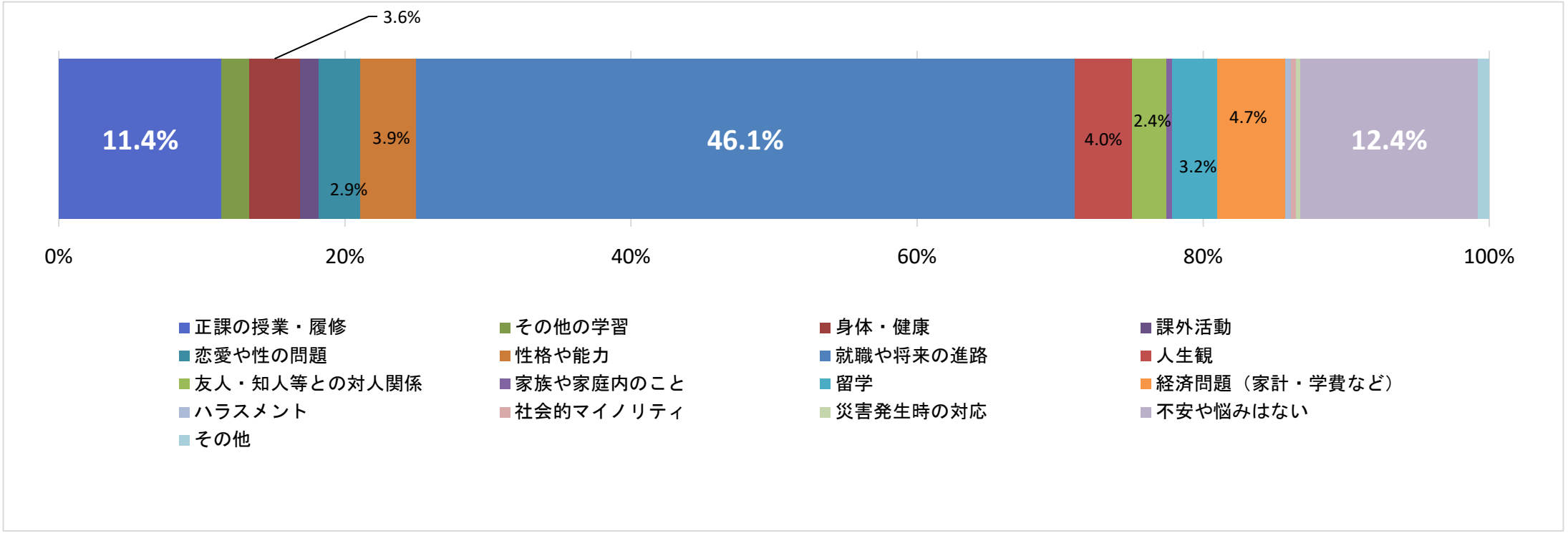
Q 大学生活の中で、不安や悩みはありますか？ あてはまるものをすべて選択してください



・在学生の7割近くが「就職や将来の進路」に不安や悩みを感じており、全項目の中で最も高い割合となった。
・一方、「正課の授業・履修」に不安や悩みを感じている在学生は3割強にとどまり、新入生調査の調査結果より低い割合であった。

4 大学生活における不安や悩み

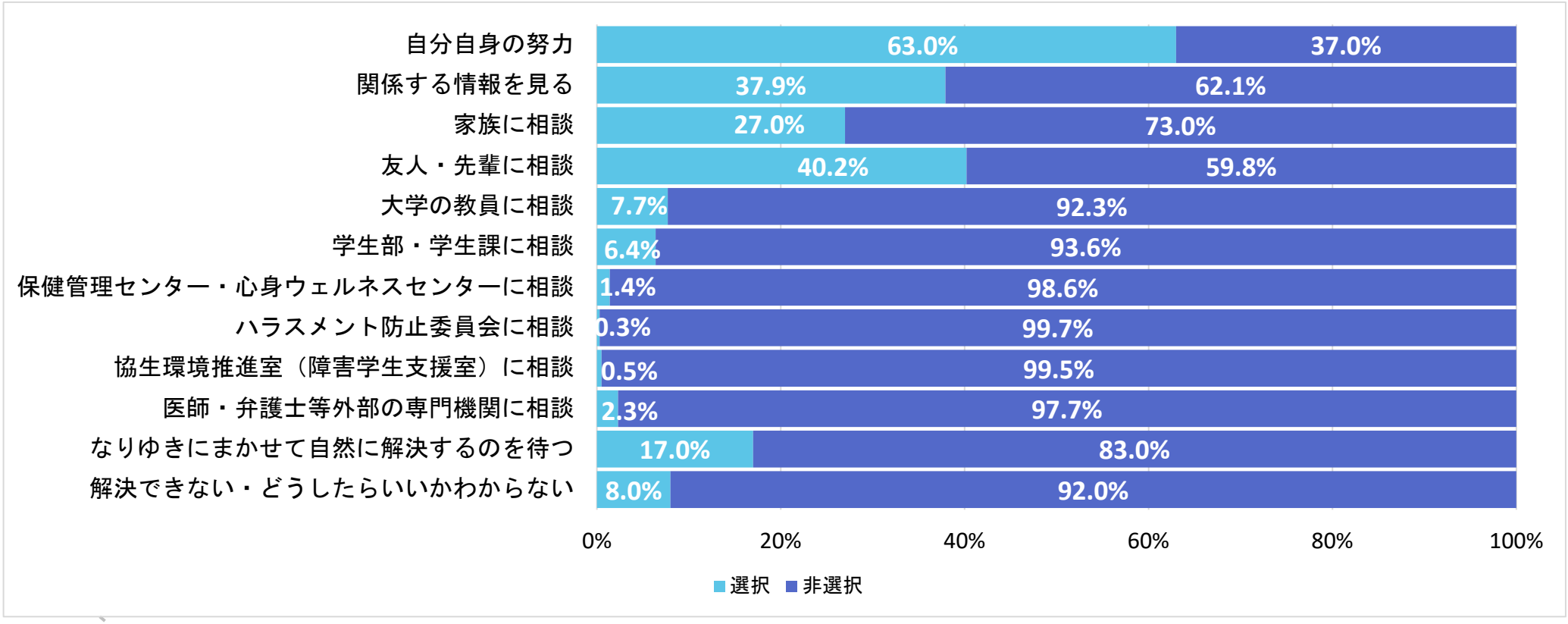
Q 最も大きな不安や悩みを1つ選択してください



・最も大きな不安や悩みとして、「就職や将来の進路」を選んだ学生が46.1%と最も多く、次いで「不安や悩みはない」が12.4%、「正課の授業・履修」が11.4%であった。また、「経済問題（家計・学費など）」を選んだ学生は4.7%であり、経済面を最も大きな不安や悩みとして挙げる学生も一定数みられた。

5　不安や悩みの解決方法

Q　最も大きな不安や悩みについて、どのような方法で解決した、または解決しようとしていますか



・不安や悩みの解決にあたっては、「自分自身の努力」が6割強と最も多く、「友人・先輩への相談」と「関係する情報を調べる」も約4割を占めた。在学生は、自力での解決を基本としながら、身近な人への相談や関連情報を活用していることがうかがえる。